

天竜川西鹿島地区河川利用推進事業 ～水辺の交流拠点整備～（国土交通省 浜松河川国道事務所）

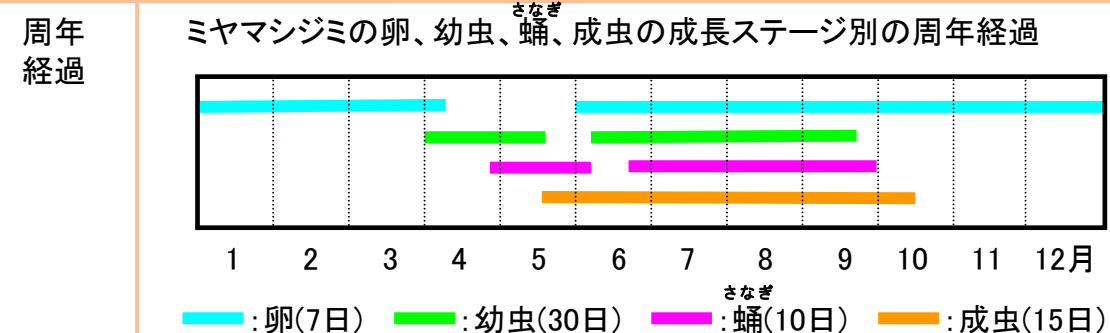
【目的3:環境】河川の多様な生態系の保全

近年の河川事業は、治水・利水に加えて、河川の持つ多様な自然環境に配慮した取り組みが求められている。天竜川には、良好な自然環境が残っており、環境省や静岡県で指定されている貴重種の昆虫「ミヤマシジミ」の生息が確認されている。特に本事業箇所の西鹿島地区は静岡県内でも代表的な生息地にあたり、河川工事による環境への影響を最小限に抑える工夫が必要となっている。そのためには、貴重種である「ミヤマシジミ」の生態を理解することが重要である。

名称	【目】チョウ 【科】シジミチョウ 【種】ミヤマシジミ
指定状況	環境省のレッドリスト : 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 静岡県のレッドデータブック : 準絶滅危惧(NT)
分布	本州のみに分布し、分布の中心は関東～中部地方の本州中部。 静岡県内では、富士山麓、天竜川、大井川、安倍川、興津川、富士川。
生態	開張約26～28mm、500円玉より一回り小さい小型のチョウ



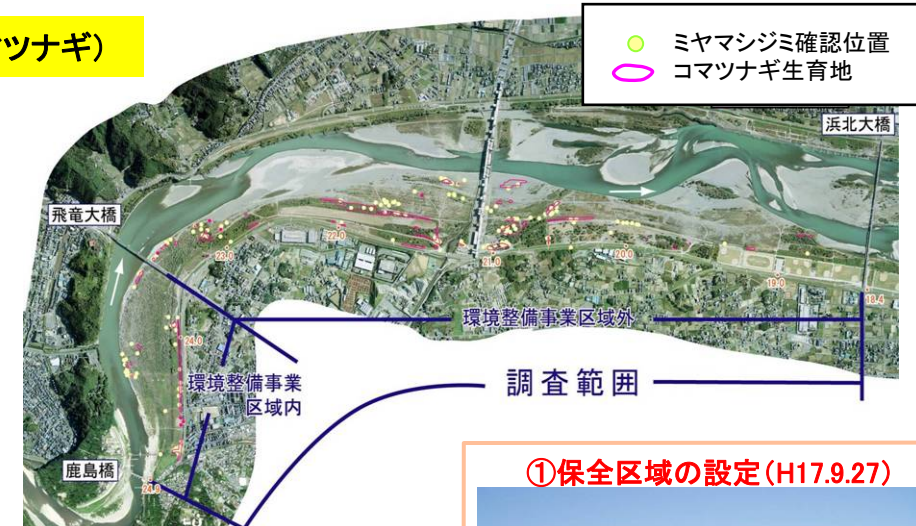
静岡県では5月中旬から11月上旬にかけて、年5回程度の発生を繰り返し、卵で越冬する。産卵はコマツナギに行われ、幼虫も同植物を食する。卵から成虫に至るまではほぼ1ヶ月を要する。



【環境保全対策】環境を保全するための取り組み

生物環境調査(ミヤマシジミ、コマツナギ)

ミヤマシジミとその食草であるコマツナギの分布調査を実施し、それらの関連性が高いことがわかった。そこで、ミヤマシジミを保全するためには、コマツナギを保全・育成する必要がある。



有識者による懇談会で保全対策を検討

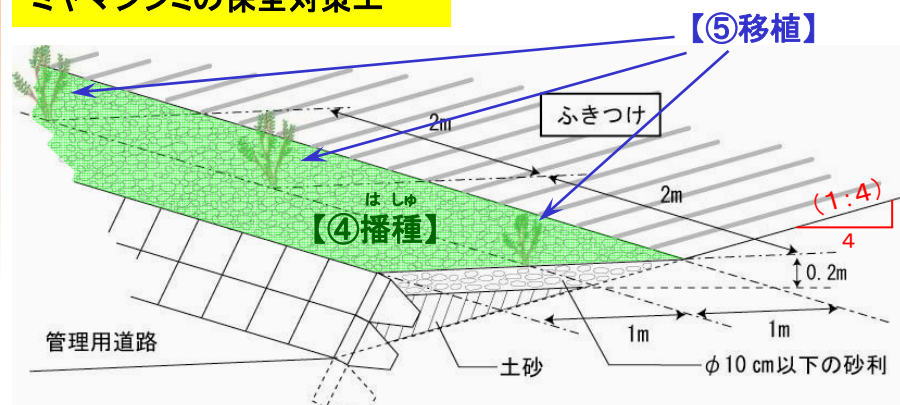


第3回懇談会(平成17年12月6日開催)



種別	項目	目的	実施時期
保全	①保護区域の設定	土砂掘削など工事車両による踏荒らしを抑止する	H17.9.27実施
	②保護看板の設置	ミヤマシジミとコマツナギの保全をPRする	H18年3月末
造成	③種子採取	11～12月に種を採取する	H17.12.12実施
	④播種(育苗)	工事完成後に種をまく(ポット等で1年程度育てる)	H18年3月末～
	⑤移植	コマツナギを他から移す	H18年3月末

ミヤマシジミの保全対策工



①保全区域の設定(H17.9.27)



③住民らによる種子採取(H17.12.12)